



市政と皆様を結ぶ情報誌

神谷まさひろ 活動報告!

# コロナブスレポート

vol.66

2018.10

発行:神谷まさひろ後援会事務所  
〒448-0028刈谷市桜町3-45  
TEL 0566-23-0344  
FAX 0566-23-1399

猛暑そして度重なる台風上陸に悩まされた夏も終わり、ようやく過ごしやすい季節がやってきました。スポーツの秋、文化の秋として刈谷市内各地で行事も催されます。普段参加されない方もこの機会にぜひ街とふれ合ってみるのはいかがでしょうか?何か新しい発見がきっとあると思いますよ。

編集長 榊原直木

事務長/都築浩介 編集長/榊原直木

## 刈谷市議会9月定例会 一般質問

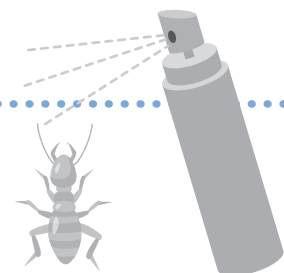
刈谷市議会9月定例会は9月5日(水)から27日(木)まで23日間の会期で開催をされました。冒頭、竹中市長による諸議案の大綱説明が行われた後、一般質問に17名の議員が登壇しました。私も本会議3日目、7日(金)の3番手として午前11時25分から、そして昼食を挟んで午後1時から次の2つの項目について質問しました。



### その1

#### 特定外来生物の駆除について

- (1) 刈谷市における特定外来生物の状況について
- (2) 現在行われている駆除活動について
- (3) 駆除活動広がりのためのしくみ作りについて



### その2

#### 市民だよりの配布と自治会加入について

- (1) 現在行われている市民だよりの配布方法について
- (2) 別の方法での配布について
- (3) 自治会加入率増加のための取り組みについて



## 子どもは社会の宝！

このコーナーでは子ども向けの施策について  
数点紹介します。

一般質問の中で、刈谷市における熱中症による救急搬送者数が示されました。  
(この数字は、子どもだけではなくすべての年代です)

**7月 昨年47名 → 今年99名 最高気温39.5度**  
**8月 昨年27名 → 今年58名 最高気温39.7度**

昨年の倍以上です。今年の猛暑が人々の身体にどれだけダメージを与えたか、  
この数字が如実に物語っていますね。

## 小中学校へのエアコン設置

そうした猛暑の中、学校におけるエアコン設置の必要性が話題  
になり、全国の自治体ではその対応のための予算措置が急きょ  
行なわれています。幸い刈谷市では既に昨年から普通教室への  
設置を進めていますからその概要をお伝えします…

### 【 中学校 】

6校の普通教室と特別教室合計172教室に昨年度設置完了。  
今年の夏には快適な教室で学んでもらうことが出来ました。  
設置費用は1教室あたり約300万円です。

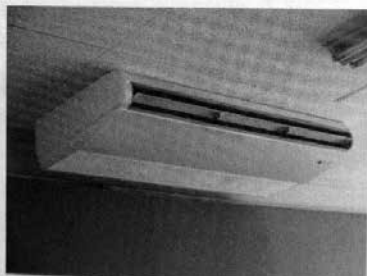
### 【 小学校 】

#### 空調設備整備事業（小学校）

1,500,000 千円

小学校の普通教室等に空調設備を設置することで暑さ  
対策を強化し、児童の安全を確保するとともに、教育環  
境の向上を図るほか、災害発生時の避難所としての機能  
強化を図ります。

■空調設備設置工事



15校の普通教室と特別教室合計427教室。先の6  
月定例会において[工事請負契約の締結議案]が可  
決しました。契約の上での工期は平成31年1月末で  
すが、夏休みに入ると同時に工事を始め、夏休み中に  
主に室内の配管や室内機設置などを行い、授業が始  
まった9月以降は主に室外機を設置するなど、授業に  
影響のないことを最優先に工事スケジュールを組ん  
でいます。11月頃に試運転を行い、最終調整後、冬  
の暖房から使用する予定にしています。設置費用は  
予算ベースでは1教室あたり約351万円ですが、6  
月議会で可決した工事請負率は約85%ですから、決  
算見込ベースで算出するとこちらも300万円ほどに  
なります。

全国の自治体での急な需要が発生したため「1教室あたり300万円では落札する業者がないの  
ではないか」「そもそも機器が間に合わないのではないか」といった噂も聞こえてきます。そういっ  
た意味では、刈谷市はいち早く手を打っておいて良かったと思います。



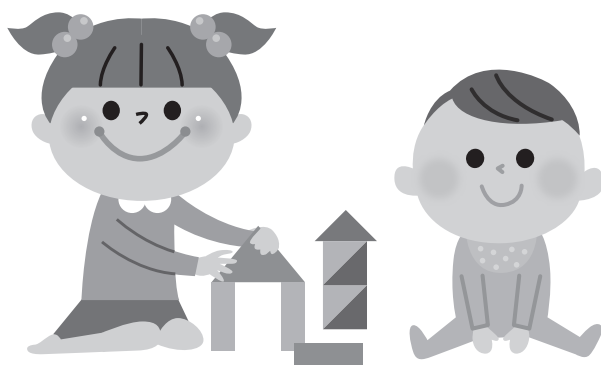
# 平成31年度から子ども課関係のサービスが拡充

## 1 幼稚園における預かり保育サービス拡充の対象園が増えます

本年度から富士松北・小高原・朝日の3つの幼稚園で試行している[預かり保育サービスの拡充]について、本年度の実施状況や保育需要の更なる高まりを踏まえて、平成31年度からは更に5園（井ヶ谷・日高・小垣江・小垣江東・双葉）を追加して8園での実施に拡大します。



## 2 保育園における保育時間を延長します



富士松北保育園・双葉保育園・かりがね保育園の3園では、現行18時までの保育時間を18時30分までに延長します。

## 『子ども・若者支援地域協議会』を設置

社会的困難を有する子ども・若者の問題は、その要因が複雑多岐にわたるため、今までは教育、福祉、保健、医療、雇用における各機関が、各々の分野で相談や支援を行ってきましたが、各支援機関の横の連携を図るネットワークの形成が重要であるとの考えにより、この協議会は設置されました。

ひきこもりやニート等の刈谷市における実態については、家庭内で抱え込むケースも多く、実態把握が難しいため、平成28年9月に内閣府から公表された「若者の生活に関する調査報告書」が示す15歳から39歳人口に占めるひきこもりの割合「1.57%」から換算すると、刈谷市におけるひきこもりの人数は、およそ800人程度ではないかと思われます。





## Topics

# 第1学校給食センター跡地 土壌改良に6億5千万円

9月定例会の予算案の中で、(新)住吉幼稚園を建設する予定であった旧第1学校給食センター跡地から土壌汚染並びに地下水汚染があることが判明した問題について、全汚染土壌の掘削除去をするための予算約6億5千万が計上されました。



敷地面積は約4700㎡、その内対象となる面積は約2300㎡、それだけの広さの土地を深さ1m～6m土砂の入れ替えをします。土壌改良に1坪90万円も掛かるということです。

土壌改良というマイナスのものをゼロベースに戻すだけのことに税金6億5千万円も使うのですから、何も問題提起することなくスルーさせることは良くないと考え、私どもの会派では「それだけのコストを掛けて幼稚園を建設しなくても、その場所はアスファルトを敷いて駐車場として利用し、幼稚園用地は別の場所に求めてはどうか?」あるいは「住吉幼稚園と重原幼稚園を合併せずにこれまで通りとして、新たに保育園用地を求めてはどうか?」と言ったことを提案したのですが、当局の答弁は…

『土壌汚染対策法によりますと、一定規模以上の土地の形質変更をする場合で、土壌調査の結果、汚染が判明したときは、県へ報告の上、その指示により必要な措置を講ずるものとされております。従いまして、駐車場整備にかかわらず、どのような用途で活用するにしても汚染土壌をこのまま放置することはできません。』



このように答弁されてしまえば、「土壌改良をするしか方法はない」といったことを納得せざるをえませんでした。

結果的には多額のコストを掛けなければならないことになってしまいましたが、汚染した土壌を全て入れ替えるため、より安全が確保された土地になり、園児や職員の健康への影響はありませんのでご安心ください!

## Topics

# 福祉産業委員会での質問

9月12日(水)には、私が所属する決算審査分科会・予算審査分科会・福祉産業委員会が開催されました。

それらの中で私は「強度行動障害加算事業について」「障害者緊急一時保護居室確保事業について」「刈谷市生きがい楽農センター運営事業について」「介護保険における地域支援事業について」「独居老人への支援について」の5項目を質問しました。

| ～ 行事・催事のご案内 ～ |                          |    |
|---------------|--------------------------|----|
| 10時00分～17時00分 | 福祉産業委員会                  | 9階 |
| 14時00分～16時30分 | 公共施設連絡バス事業者選定プロポーザル事前説明会 | 7階 |



その中から「独居老人への支援について」ポイントを箇条書きにして紹介します…

- ① 最近「1人暮らしのお年寄りが増えたなあ～」と感じます。そこで「刈谷市における70歳以上の単身高齢者数」を尋ねたところ…

|       |       |
|-------|-------|
| 平成27年 | 1840名 |
| 平成28年 | 1986名 |
| 平成29年 | 2047名 |
| 平成30年 | 2234名 |



とのことですから4年間で2割以上、確かに急速に増加しています。

- ② それらの方に提供されているサービスとしては[緊急通報システムの設置][福祉でんわ][火災報知器や電磁調理器などの給付][配食サービス][布団を乾燥消毒するサービス]など
- ③ 毎年行う高齢者実態調査において、民生委員が必要と思われるサービスの紹介や利用促進を図っている
- ④ それ以外に、地域ケア会議や地域サロン活動など地域住民が集う場所での話題で高齢者の情報把握
- ⑤ 地域包括支援センターが訪問して、積極的に関わりを持つように努めている

いくら良いサービスを市が提供していても1人暮らしのお年寄りの場合、その情報を得ることや、そのサービスを受ける手続きを1で行なうのは難しいのではないかと思います。民生委員さんや地域包括支援センター、そして我々議員も積極的な関わりを持って行く必要があると思います。

## Topics

### 各種行事に参加

議員は議会での活動のほかに、様々なイベントや行事に参加しています。この夏から秋にかけて参加した行事の一部について日記形式で紹介します…

DIARY

8月17日(金)

#### 市民盆おどり大会に参加

刈谷わんさか祭2018の前夜祭として行われた『市民盆おどり大会』に参加しました。

今年は(一社)刈谷青年会議所が新たな試みとして刈谷市出身アーティストの曲で踊る[盆DANCE TIME]を企画。スペシャルゲストMCは刈谷市泉田町出身のHOME MADE家族のミクロマンサンライズ!!!さん。冒頭「泉田から歩いて来ました」で会場を爆笑させた後、のりの良いMCとダンスに盆おどりとは一味違う雰囲気、大いに盛り上がりました。



踊りの輪の中に、浴衣姿の市議会議員も何人か見かけました。私が議員になって始めた参加した20年ほど前の盆踊りでは、「議員で踊っている人は少ないなあ」という印象だったのですが、今ではただ踊っているだけでなく、ちゃんと浴衣姿で参加する方が増えてきたように思います。

「刈谷小唄」「刈谷音頭」「刈谷よいとこ」…幼い頃から聞いていた刈谷の3曲を踊っている時は郷土への愛着を感じ、刈谷市民でいることを無性に嬉しくなる瞬間です。

DIARY

8月26日(日)

#### 桜区資源回収のお手伝い

桜市民館で行われた桜区資源回収のお手伝いに参加しました。1ヶ月に1度行っているこの資源回収では、収集日以外の日にとってきた物は、倉庫に入れておけば良いことになっているため、毎回倉庫の扉が閉まらないほど一杯溜まっています。今日はダンボールの入っている倉庫を担当して、しっかり汗をかきながら倉庫の中を綺麗にかたづけることが出来ました。下着・ボロシャツは汗でぐっしょり。気持ちの良い汗です。

ダンボール・新聞・雑誌・アルミ缶・ボロ布などに対する資源回収奨励報償金は、地区での様々な活動の財源の一部になっています。この活動はごみを減らすことが出来る上に、地区の活動資金にもなって、動くことでダイエットにもなるし、更に地域の皆さんが交流できる…幾つものメリットのある活動です。





9月2日(日)

## ひかりの家バザー

亀城小学校で行なわれた『ひかりの家バザー』に出かけました。実行委員長の神谷さん、副実行委員長の泉さんをはじめこの会場に来ると多くの知り合いに会うことが出来ます。そしてお会いするスタッフの皆さんがとても生き生きしておられます。



今日は会場に入ると直ぐに、刈谷地区心身障害児者を守る会会長の鈴木さんから「神谷さん、魚の料理をすることある？ この手づくりのうろこ取り一つ如何ですか？」と言われましたので「鈴木さん、もしかして私が魚屋だってこと忘れていない？」といった笑い話をしながら先ず「うろこ取り」を3つ購入しました。



そのほかグラスやゴルフボールなど、沢山購入したつもりなのですが、会計をしてみたら640円とのこと。元々単価が安い上に、1000円以上購入すると半額になるとのことで、凄くお値打ちな買い物をしました。

沢山の方の善意に支えられたこのバザー、今年も目標の300万円は越えることが出来そうとのこと。私は毎年、品物を「購入」するだけに過ぎませんが、事前の準備から暑い中での当日の運営などをされる多くの関係者の方々に心から敬意を表します。

9月9日(日)

## 長寿祝賀会に出席

桜区の長寿祝賀会に来賓として出席しました。

「今日は他の地区でも同じように祝賀会が開催され大変お忙しい中、市長さんと社会福祉協議会の会長さんという、トップ2人がこの桜区に来賓として来て下さいました。大変ありがたいことです。



健康で長生きする秘訣は『一・十・百・千・万』だそうです。こういった事かと言いますと、『万』というのは「一日に一万歩歩くこと」、『千』は「毎日、千文字書くこと」、『百』は「毎日、百回深呼吸すること」、『十』は「毎日、十回は笑うこと」、そして最後の『一』は「一日一回は感動すること」だそうです。

一人で家に籠もってはいそれは出来ません。公民館で行われている各種事業にぜひ積極的に参加してください。そして、この式典の後、演芸も行われます。早速、笑いと感動を体験して、いつまでもお元気で長生きしてください」…来賓としてこのような挨拶をさせていただきました。

その後行なわれた演芸では、急きょチェリーコーラスのバックでギターを弾かせてもらいました。会場全員で合唱した『故郷』です。「こころざしを果たして いつの日にか帰らん 山はあおき故郷 水は清き故郷」…急なことでしたので、緊張で手が震えました(>ω<)

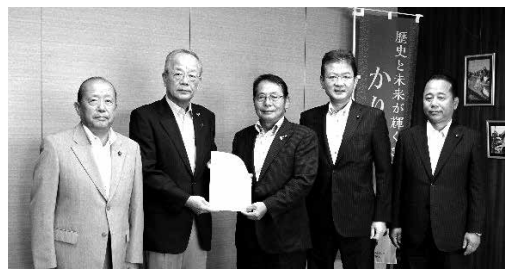


## Topics

# 竹中市長に予算要望書を提出

9月19日(水)、会派メンバー4名で竹中市長に『平成31年度予算・施策に関する要望書』を提出しました。今回は全部で76項目です。

昨年提出した中から実現したことや、実現の方向で動いている項目は省いて、新たな項目として…



- ▶ 避難所へ(下水道直結の)マンホールトイレの整備をすること
- ▶ 街区公園へ(時を知らせる)オルゴールを設置すること
- ▶ 一時避難集合場所に看板の設置をすること
- ▶ 低地部における避難対策の充実(津波避難タワーの検討)を図ること
- ▶ 名鉄バス「刈谷駅～愛教大」路線を藤田医科大学方面へ延伸すること
- ▶ 職員研修を拡充すること(市民の目線に対応できる職員の育成)
- ▶ 運転免許証返納促進のための事業を実施すること
- ▶ 教員の負担軽減のため国が提言している部活動指導員を活用すること
- ▶ 教員に対する部活動手当を増額すること
- ▶ 養護教諭の増員を図ること(生徒500人以上の場合は2人)
- ▶ 学校司書の各中学校区での配置を図ること

この中にある『名鉄バス「刈谷駅～愛教大」路線を藤田医科大学方面へ延伸すること』という項目については、加藤賢次議員がこれまでも何度か一般質問で要望しており、この9月定例会一般質問においても再度質問しました。

当局の答弁としては「豊明市やバス事業者と意見交換を行なっている段階」とのことですから、期待出来るのかどうか微妙な答弁です。

現在このバス路線には損失補てん的な意味合いで、刈谷市として年間約1700万円の予算を投入しています。それを押さえるためには乗降客を増やすことが重要なことで、そのためには愛教大から藤田医科大学病院、更には徳重方面にまで延伸して、学生以外の利用を促すことが有効な手段であると思っています。また、公共交通機関で刈谷駅から藤田医科大学病院に行くには、名鉄刈谷駅→知立駅→前後駅→バスと何度も乗換えをしなければならずとても不便です。ぜひ実現させたいと思っています。